

令和 7 年 5 月 30 日
政策統括官付地理空間情報課

国土数値情報のデータ公開・整備予定のお知らせ ～雨水出水（内水）浸水想定区域等の最新の GIS データを公開します～

・国土交通省では、国土に関する基礎的な地理空間情報を GIS データに整備し、ダウンロードサイト上で無償提供しています（別紙を参照）。

・洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、緊急輸送道路等の**最新データ**を、**本日より順次公開**します。また、**雨水出水（内水）浸水想定区域**を**新規公開**します。

・来年度の公開に向けて、**道路データの 30 年ぶりの更新整備や、宅地造成等工事規制区域・特定盛土等規制区域の新規整備を、今年度**に**実施**する予定です。

1. 令和7年度公開予定データ：5/30より順次公開

分類	データ項目
災害リスク	洪水浸水想定区域（河川単位／1次メッシュ単位）※1、土砂災害警戒区域、津波浸水想定、高潮浸水想定区域、多段階浸水想定、 雨水出水（内水）浸水想定区域
交通インフラ	緊急輸送道路、鉄道、鉄道時系列、駅別乗降客数、高速道路時系列
都市計画	都市計画決定情報
行政地域	行政区域、位置参照情報
地価	都道府県地価調査、地価公示 ※2

下線を引いたデータ項目は5/30に公開。その他のデータ項目は6月以降、順次公開予定。

※1：洪水浸水想定区域（河川単位）は、5月30日のデータ公開に加え、11月に追加分を公開予定。

※2：都道府県地価調査は、令和7年9月公開予定。地価公示は、令和8年3月公開予定。

2. 令和7年度整備予定データ（令和8年度公開予定データ）

分類	データ項目
災害リスク	洪水浸水想定区域（河川単位／1次メッシュ単位）、土砂災害警戒区域、津波浸水想定、高潮浸水想定区域、多段階浸水想定、雨水出水（内水）浸水想定区域、 宅地造成等工事規制区域・特定盛土等規制区域 ※3
交通インフラ	道路 、鉄道、駅別乗降客数
都市計画	都市計画決定情報

※3：詳細は、盛土規制法総合窓口を参照のこと。<https://www.mlit.go.jp/toshi/morido-gaiyou.html>

3. 公開先 国土数値情報ダウンロードサイト (<https://nlftp.mlit.go.jp/>)

◆ 地理空間情報課 X公式アカウント



https://twitter.com/GIS_MLIT

【問合せ先】

政策統括官付 地理空間情報課 諏訪、浅田
代表：03-5253-8111（内線 29-822、29-815）
直通：03-5253-8353

国土交通省では、**国土に関する基礎的な地理空間情報**（地価、人口、都市計画、災害リスク情報、交通インフラ、公共施設等）を、「国土数値情報」として**全国統一的なフォーマットのGISデータ**に整備し、無償で提供しています。国土・地域計画策定における利用、民間でのビジネス利用や、研究等に幅広く活用されています。

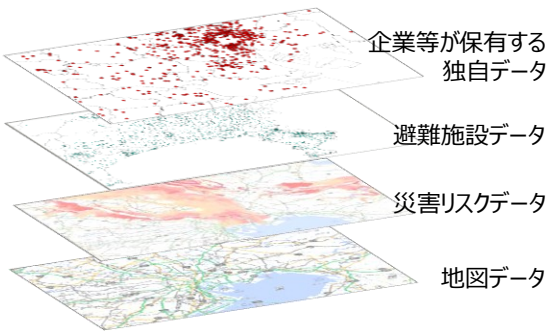
GISとは

GIS（Geographic Information System/地理情報システム）は「GISソフト」「地図データ」「GISデータ」から構成され、**位置に関する情報をもったデータを管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術です。**

GISの主な用途

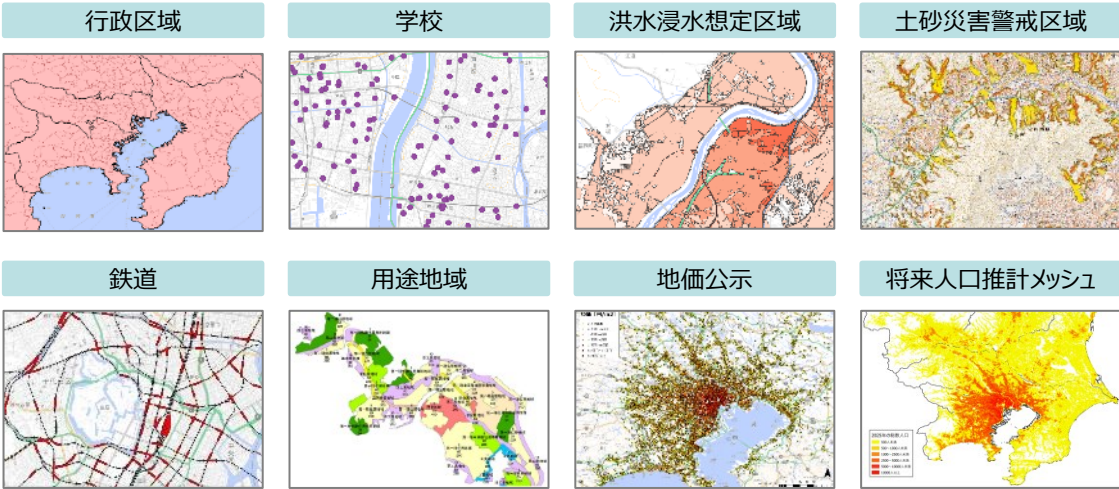
- 情報の可視化（状況を把握し、意思決定に役立たせる）
- 情報の管理（モノ・コトの場所に紐付けて様々な属性情報を記録・管理）
- データ解析（データの属性や位置関係に基づく様々な空間分析、データ抽出など）

【GISデータを用いた可視化・分析イメージ】



国土数値情報のデータ項目：約190種類（令和7年4月現在）

土地利用	土地利用、森林地域、国有林野、農業地域 など
行政地域	行政区域、小学校区、中学校区、人口集中地区 など
公共施設	市町村役場、警察署、郵便局、医療機関、福祉施設 など
災害リスク	洪水・津波・高潮浸水想定区域、土砂災害警戒区域 など
公共交通	鉄道、駅別乗降客数、バスルート、空港、港湾 など
水域・地形	河川、湖沼、海岸線、ダム、標高・傾斜度 など
都市計画	都市計画決定情報、立地適正化計画区域 など
地価	地価公示、都道府県地価調査
その他	将来人口推計メッシュ、位置参照情報 など



国土数値情報の利用状況等

当初、国土計画策定のために整備していたデータを、2001年より一般向けに公開開始。近年、GISの普及とともに民間企業やメディア報道における利用事例も増え、ダウンロード数が急増しています。（2009年度 約50万件 → 2024年度 約200万件）

国土数値情報のこれまで

1974年 国土計画策定のためにデータ整備を開始

- ・国土に関する資料の不足や地域開発に関する科学的方法論の欠如の指摘を受け、データ整備を開始（土地利用データ等）
- ・整備したデータは公共機関や研究機関に限定して申請に基づき提供

2001年 ダウンロードサイトを開設、オープンデータ化

- ・GISホームページ（現：国土数値情報ダウンロードサイト）を開設し、一般向けに国土数値情報のダウンロードが可能に

2010年・2016年 データ提供形式の多様化

- ・シェープファイル（Shape）形式での提供開始（2010年）
- ・GeoJSON形式での提供開始（2016年）

2023～2024年 これからの国土数値情報の検討

- ・「今後の国土数値情報の整備のあり方に関する検討会」の設置



国土数値情報のダウンロード数

